

アーティストの表現活動を支援する
「TYサポート・プログラム」スタート

～第一弾としてクラシック・レコーディングを支援～

株式会社ティー ワイ リミテッド(港区南青山、代表取締役会長：依田 巽)は、この度、アーティストの表現活動を支援する「TYサポート・プログラム」をスタートし、第一弾として才能あるクラシックの音楽家のために、その才能の発表手段としてのCD制作を支援いたします。

レコード会社に所属するディレクターからフリーランスのプロデューサー、ディレクターまたは演奏家自身など、様々なクリエイターの方たちによって企画され、申請されたクラシック・レコーディング・プロジェクトに対して審査を行い、その結果、援助が妥当であると思われた企画に対して資金的なサポートを行うものです。

現在、クラシックの演奏会や音楽祭を組織的に支援する活動は、大企業の支援による音楽財団や、個人の浄財による支援などのかたちで日本にも多数存在しています。こうした支援は真の意味でのメセナ活動として定着しており、クラシック演奏家の日々の活動の支えのひとつになっています。しかし、演奏家や創作者にとって、発表の手段として実演と同じように重要なCD等のレコーディング活動については、現在の日本では組織だった支援の例がほとんどありません。

レコード会社が商品としてCDをリリースし、産業として音楽業界を活性化させてゆくことも大切ですが、これと同時にレコード会社との契約をもたない演奏家にとっても、CDが重要な「表現の場」であることは忘れてはならないことです。海外、特にヨーロッパにおいては、クラシックCDに対する制作援助が活発に行われており、日本においても、こうした表現の場をつくっていくという活動に対する認識を高め、より一層の援助を行っていくべきだと考えております。

このサポート・プログラムにより、これまで発表の機会に恵まれなかった素晴らしい才能を収めたCDが少しでも多く世に生まれ、演奏家自身のさらなる飛躍、ひいては業界の活性化を願うものがあります。

記

名称： TYサポート・プログラム

応募対象： 原則として日本で発売するクラシック音楽の録音企画を持っている演奏者（個人もしくは団体）、制作者（個人もしくは法人）をサポートの対象とします。

援助金額： 1件につき百万円（支援総額）。

対象件数： 年間10件を最大としますが、応募内容、審査結果によって適宜変動します。

募集方法： 年2回の公募（新聞、雑誌、インターネット等）を行い審査・決定します。

審査： 企画内容等を記載した書面と演奏サンプル（録音物）によって、有識者数名が審査します。

援助条件： 原則として審査通過後12ヶ月以内に作品が国内発売され、不特定多数の人々の手に入る状態となることを基本条件とします。

援助側の義務および権利： 本活動の趣旨は企画された録音物の制作サポートですので、企画内容、宣伝・販促あるいは販売等についての援助・助言等は一切行いません。また原盤権を含む権利等の主張は行いませんが、本活動の紹介を行う文書等に演奏者あるいは制作者の名前及び部分的な音を使用する権利を留保します。また、支援が決定した方とは、簡単な覚書を交わさせていただきます。

第1回募集： 2005年7月1日－7月31日（当日必着）

発表： 選考が終了次第、審査結果は書面にて、応募者に直接、連絡いたします。公表はいたしません。

応募者からのお問い合わせ先： tysupport@cotton.ocn.ne.jp（TYサポート・プログラム事務局）

株式会社ティー ワイ リミテッドについて

株式会社ティー ワイ リミテッドは1988年3月に海外ビジネスを中心とする経営コンサルティング会社として、代表取締役会長の依田 巽により設立されました。(設立当時の名称は株式会社トーマス・ヨダ・リミテッド)。

その直後に創業したエイベックス・ディー・ディー株式会社(現エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社)に、1988年8月、顧問として迎えられた依田巽は、CD輸入事業立ち上げに参画したのをきっかけに経営全般の指導を開始。1990年2月、同社取締役に就任し、2004年8月まで筆頭株主ならびに代表取締役会長兼社長として経営に携わってきました。

当社は依田巽がエイベックス在籍中、2001年4月までは休眠会社として存続しておりましたが、2001年5月より依田自身の資産管理会社として一部事業を復活しました。2005年1月からは本格的に業務を再開し、エンタテインメントおよびコンテンツビジネスで培ってきた経験やノウハウを活かして、経営コンサルティング、企業への投資、芸術・文化・社会活動への支援等を行っています。